

# 混迷する日本政治と石破政権の行方

東京大学先端科学技術研究センター教授  
牧原出



- \* ガバナンス不全が目立つ自民党
- \* 避けて通れない会計の透明化
- \* 派閥解消後の自民党に必要なこと
- \* 求められる「こらえる政治」
- \* 政権運営での石破カラーはいつ出せるか
- \* 左による石破と右による野田
- \* 政治資金規正法の見直しと第三者委員会
- \* 石破政権の今後は参議院選挙の結果次第
- \* 与野党とも政党幹部への集権が不可避に
- \* 国民が求める多極共存型デモクラシー

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

今日の講師をご紹介します。東京大学先端科学技術研究センターの牧原出先生にお越しただきました。

先生は東大法学部を出られて、助手をされた後、東北大学に転じられ、教授を務められ、それから2013年から東京大学先端科学技術研究センターの教授を12年お務めになっていらっしゃいます。

『週刊東洋経済』に政治のコラム、「フォークス政治」という欄がありまして、ここに長年ご執筆いただいています。実は2017年から8年間ずっと切れずに2ページのコラムをご執筆いただいております。

皆さんもご承知のように、オーラル・ヒスト

リーの本もたくさん出されていらして、政治家とか、官僚の方のオーラル・ヒストリーという形でいろんな本をまとめるというお仕事もなさっていらっしゃいます。

それでは今日は「混迷する日本政治と石破政権の行方」ということでご講演願いますので、どうぞお聞きいただければと思います。

先生、よろしく願います。（拍手）

ガバナンス不全が目立つ自民党

牧原 ただいまご紹介にあずかりました東京大学先端科学技術研究センターの牧原と申します。

昨年、事務局の方と御相談したときは、「混迷する日本政治」がこの状況にふさわしいもの